

新年あけましておめでとうございます。

2025年も、学びの楽しさや仕事へのやりがいを感じ、また多くの先生方とのつながりを大事にしながら、一緒に成長していけたらと思います。何よりも健康を第一に、実り多い一年を過ごしていきましょう。

さて、今回の小児科通信でも、医局の行事、医局員の先生方の学会参加予定に加え、毎月医局員の先生お一人ずつから若い先生方へのメッセージを掲載しています。どうぞ気軽な気持ちで目を通してくださいね。

## ～12月の医局行事報告～

### 12月5日 セミナー

「令和6年のまとめ」を行いました。今回の会では、「考えさせられた症例」に関して各チームが報告し、皆で共有しました。今後の診療のあり方を見直す、良い機会でした。

### 12月9日 クリニカルカンファレンス

「小児科におけるMRSA」というテーマで感染・免疫グループが発表しました。

### 12月23日 小児科病棟にサンタさんがやってきました！

今年は、なんと教授のご友人で、サンタクロース協会公認のサンタさんが、4B病棟に来てくれました。子どもたちは、「本物のサンタさんにあったよー！」と、とても嬉しそうに教えてくれました。

また、修練医の先生方が、トナカイに変身したり、紙芝居や歌などを披露したりと、大活躍でした。小松先生、宮地先生、永汐先生、本当にお疲れ様でした！



子どもたちを楽しませたいとの思いが、あふれていました！

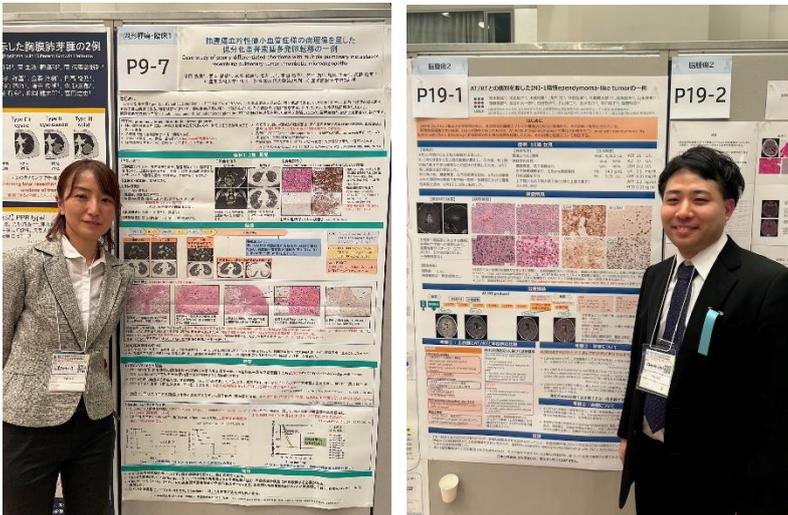
## ～12月の学会報告～

### 12月14日 第527回 日本小児科学会福岡地方会例会

小児外科の江角先生が「サルコペニアは何故予後不良因子か？」について、小児科修練医の照喜名先生が「大頭症を伴う神経発達症を契機として診断に至った PTEN 過誤腫症候群の1例」について発表しました。また福田先生、桑村先生が座長を務められました。

### 12月13-15日 第66回 日本小児血液・がん学会学術集会 in 京都

血液腫瘍グループの宮本先生が「AT/RT との鑑別を要した INI-1 陰性 ependymoma-like tumor の一例」について、守田が「肺腫瘍血栓性微小血管症様の病理像を呈した低分化型脊索腫多発肺転移例の一例」について、ポスター発表しました。学会後には、他院の先生方と濃い飲み会で、更に交流を深めることができました。



3年目の宮地先生も参加してくれました！  
良い刺激になったことと思います。

## ～1月・2月の医局内イベント～

学生さんの中には、小児科通信を読んで学会参加してくれた方もいらっしゃいます！興味のある方は、ご連絡をお待ちしております★

- 1月20日 18時～ 血液グループのクリニカルカンファレンス  
「若年性特発性関節炎 JIA ガイドライン 2024-25」
- 1月23日 18時～ 第2内科の片岡教授によるセミナー  
「小児期から成人期までの循環器医療～先天性心疾患、難病疾患、ゲノム医療を中心に～」
- 2月10日 18時～ 腎臓グループのクリニカルカンファレンス
- 2月27日 18時～ 新生児グループのセミナー

★クリニカルカンファレンスとセミナーは Zoom 参加出来ます。参加してみたい方は、桑村 (maeguchi06@med.uoeh-u.ac.jp) または守田 (h-rita@med.uoeh-u.ac.jp) までご連絡ください。

～次号もお楽しみに～